

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-187657
(P2004-187657A)

(43) 公開日 平成16年7月8日(2004.7.8)

(51) Int. Cl.⁷
A01K 13/00

F I
A O I K 13/00 Z

テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 3 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号	特願2002-383137 (P2002-383137)	(71) 出願人	500293076
(22) 出願日	平成14年12月10日 (2002.12.10)		葛生 裕子
(11) 特許番号	特許第3427074号 (P3427074)		栃木県栃木市大宮町2584番地
(45) 特許公報発行日	平成15年7月14日 (2003.7.14)	(72) 発明者	葛生 雅之
			栃木県栃木市大宮町2584番地

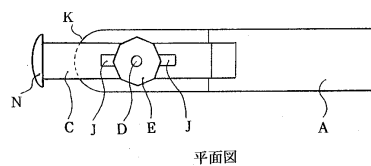
(54) 【発明の名称】 ペット用顔毛切り

(57) 【要約】

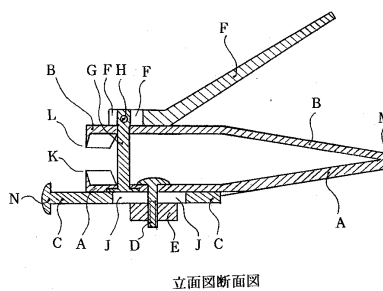
【課題】 犬猫等のペットの顔の毛を切る時、ペットの顔とペット用顔毛切り道具を常に一定距離にし、安全な位置でペット用顔毛切り道具を使用できるようにする。

【解決の手段】 犬猫等のペットの顔の毛を切るペット用顔毛切りで、上下両刃体A, Bに刃先K, Lを相対向させて形成し、上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔の距離を調整するため、ペットの顔に接する部材Nを部材Cの先端に取り付け、ペットの顔に接する部材Nが上下両刃体A, Bの刃先K, Lより出て部材Cを上下両刃体A, Bに取り付け、上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔に接する部材Nとの距離を一定にするための部材Cが上下両刃体A, Bに固定して取り付けられた、又は上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔に接する部材Nとの距離を変えることができる部材Cが上下両刃体A, Bに取り付けられた、以上のことを特徴とするペット用顔毛切り。

【選択図】 図1



平面図



立面図断面図

【特許請求の範囲】

【請求項1】

犬猫等のペットの顔の毛を切るペット用顔毛切りで、上下両刃体 A , B に刃先 K , L を相対向させて形成し、上下両刃体 A , B を刃先 K , L の反対側で接続して取り付け接続点 M とし、下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った円弧の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った V 字の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は直線の形をし、上下両刃体 A , B に支持ピン G を通し、支持ピン G と下刃体 A を接続して固定し、支持ピン G が上刃体 B より上側に突き出た部分に横穴を開けてピン H を通し、押圧操作レバー F の片隅にピン H を入れる穴を開け、ピン H と押圧操作レバー F を取り付け、押圧操作レバー F を下側に力を加えることで上刃体 B の刃先 L が下がり、下刃体 A の刃先 K と上刃体 B の刃先 L は接触して、下刃体 A の刃先 K と上刃体 B の刃先 L の間にあるペットの顔の毛を切ることができ、下刃体 A に雄ネジ加工したボルト D を接続して取り付け、ボルト D は下刃体 A より下側に突き出て、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔の距離を調整するため、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔との距離を調整するための長い板部材 C を下刃体 A の外側に取り付け、直方体等の長い板部材 C の中央付近に長手方向に溝 J を貫通して開け、長い板部材 C の片端にペットの顔に接する部材 N を取り付け、ペットの顔の毛を切る時はペットの顔に接する部材 N をペットの顔に接して使用し、長い板部材 C に貫通して開けた溝 J にボルト D を通し、下刃体 A と長い板部材 C を接続して取り付け、長い板部材 C に貫通して開けた溝 J をボルト D が移動できるように取り付けて、ボルト D が溝 J を移動することで、長い板部材 C の片端のペットの顔に接する部材 N と刃先 K , L の距離を変えて調整できるようにし、下刃体 A 及び長い板部材 C より下側に突き出たボルト D にナット E を取り付け、ナット E を締めることで下刃体 A と長い板部材 C を固定する、以上のことを特徴とするペット用顔毛切り。

10

20

【請求項2】

犬猫等のペットの顔の毛を切るペット用顔毛切りで、上下両刃体 A , B に刃先 K , L を相対向させて形成し、上下両刃体 A , B を刃先 K , L の反対側で接続して取り付け接続点 M とし、下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った円弧の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った V 字の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は直線の形をし、上下両刃体 A , B に支持ピン G を通し、支持ピン G と下刃体 A を接続して固定し、支持ピン G が上刃体 B より上側に突き出た部分に横穴を開けてピン H を通し、押圧操作レバー F の片隅にピン H を入れる穴を開け、ピン H と押圧操作レバー F を取り付け、押圧操作レバー F を下側に力を加えることで上刃体 B の刃先 L が下がり、下刃体 A の刃先 K と上刃体 B の刃先 L は接触して、下刃体 A の刃先 K と上刃体 B の刃先 L の間にあるペットの顔の毛を切ることができるようにし、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔との距離を一定に調整するため、ペットの顔に接する部材 N を長い板部材 C の先端に取り付け、ペットの顔に接する部材 N が上下両刃体 A , B の刃先 K , L より出て長い板部材 C を下刃体 A に取り付け、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔に接する部材 N との距離を一定にするための長い板部材 C が下刃体 A の外側に固定して取り付けられ、ペットの顔に接する部材 N は先端を丸めた円形又は楕円形で、ペットの顔の毛を切る時はペットの顔に接する部材 N をペットの顔に接して使用する、以上のことを特徴とするペット用顔毛切り。

30

40

【請求項3】

犬猫等のペットの顔の毛を切るペット用顔毛切りで、上下両刃体 A , B に刃先 K , L を相対向させて形成し、上下両刃体 A , B を刃先 K , L の反対側で接続して取り付け接続点 M とし、下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った円弧の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った V 字の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接

50

続点Mから見て上下両刃体A, Bの刃先K, Lは直線の形をし、上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔の距離を調整するため、ペットの顔に接する部材Nを部材Cの先端に取り付け、ペットの顔に接する部材Nが上下両刃体A, Bの刃先K, Lより出て部材Cを上下両刃体A, Bに取り付け、上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔に接する部材Nとの距離を一定にするための部材Cが上下両刃体A, Bに固定して取り付けられた、又は上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔に接する部材Nとの距離を変えることができる部材Cが上下両刃体A, Bに取り付けられた、以上のことを特徴とするペット用顔毛切り。

【発明の詳細な説明】

【0001】

10

【発明の属する技術分野】

犬猫等のペットの顔の毛を切るペット用顔毛切り道具の技術。

【0002】

【従来技術】

ハサミがペットの顔に固定できず、ハサミでペットの顔の毛を切る時、ペットが動いてしまい上手く毛を切れず、ペットの顔を傷つけてしまうことがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

犬猫等のペットの顔の毛を切る時、ペットの顔とペット用顔毛切り道具を常に一定距離にし、安全な位置でペット用顔毛切り道具を使用できるようにする。

20

【0004】

【課題を解決するための手段】

犬猫等のペットの顔の毛を切るペット用顔毛切りで、上下両刃体A, Bに刃先K, Lを相対向させて形成し、上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔の距離を調整するため、ペットの顔に接する部材Nを部材Cの先端に取り付け、ペットの顔に接する部材Nが上下両刃体A, Bの刃先K, Lより出て部材Cを上下両刃体A, Bに取り付け、上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔に接する部材Nとの距離を一定にするための部材Cが上下両刃体A, Bに固定して取り付けられた、又は上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔に接する部材Nとの距離を変えることができる部材Cが上下両刃体A, Bに取り付けられた、以上のことを特徴とするペット用顔毛切り。

30

【0005】

【発明の実施の形態】

犬猫等のペットの顔の毛を切るペット用顔毛切りで、上下両刃体A, Bを金属等で造り、上下両刃体A, Bの長さは20.0mmから1000.0mmで幅は3.0mmから100.0mmで肉厚は0.2mmから30.0mm、上下両刃体A, Bに刃先K, Lを相対向させて形成し、上下両刃体A, Bを刃先K, Lの反対側で接続して取り付け接続点Mとし、下刃体Aと上刃体Bの接続点Mから見て上下両刃体A, Bの刃先K, Lは外側に中央が出っ張った円弧の形をし、又は下刃体Aと上刃体Bの接続点Mから見て上下両刃体A, Bの刃先K, Lは外側に中央が出っ張ったV字の形をし、又は下刃体Aと上刃体Bの接続点Mから見て上下両刃体A, Bの刃先K, Lは直線の形をし、上下両刃体A, Bに金属等で造られた太さ0.5mmから30.0mmの支持ピンGを通し、支持ピンGと下刃体Aを接続して固定し、支持ピンGが上刃体Bより上側に突き出た部分に横穴を開けて金属等で造られた太さ0.3mmから20.0mmのピンHを通し、押圧操作レバーFの片隅にピンHを入れる穴を開け、押圧操作レバーFを金属等で造り長さは20.0mmから1000.0mmで幅は3.0mmから100.0mmで肉厚は1.0mmから60.0mm、ピンHと押圧操作レバーFを取り付け、押圧操作レバーFを下側に力を加えることで上刃体Bの刃先Lが下がり、下刃体Aの刃先Kと上刃体Bの刃先Lは接触して、下刃体Aの刃先Kと上刃体Bの刃先Lの間にあるペットの顔の毛を切ることができるようにし、下刃体Aに雄ネジ加工した金属等で造られた太さ0.5mmから30.0mmのボルトDを接続して取り付け、ボルトDは下刃体Aより下側に突き出て、上下両刃体A, Bの刃先K, L

40

50

とペットの顔との距離を調整するため、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔の距離を変えるための長い板部材 C が下刃体 A の外側に取り付けられ、金属又は高分子化合物で造られた幅は 2 . 0 mm から 8 0 . 0 mm で長さは 1 0 . 0 mm から 5 0 0 . 0 mm の長い板部材 C の中央付近の長手方向に幅は 0 . 5 mm から 3 0 . 0 mm で長さは 1 . 0 mm から 3 0 0 . 0 mm の溝 J を貫通して開け、下刃体 A の下側の長手方向に長い板部材 C を取り付ける溝を幅は 2 . 2 mm から 8 2 . 0 mm で深さは 0 . 1 mm から 1 0 . 0 mm で彫り、長い板部材 C の片端に金属又は高分子化合物で造られたペットの顔に接する部材 N を取り付け、ペットの顔に接する部材 N は先端を丸めた円形又は楕円形で、ペットの顔の毛を切る時はペットの顔に接する部材 N をペットの顔に接して使用し、長い板部材 C に貫通して開けた溝 J にボルト D を通し、下刃体 A と長い板部材 C を接続して取り付け、長い板部材 C に貫通して開けた溝 J をボルト D が移動できるように取り付けて、ボルト D が溝 J を移動することでペットの顔に接する部材 N と刃先 K , L との距離を変えて調整できるようにし、下刃体 A 及び長い板部材 C より下側に突き出たボルト D に金属等で造られた厚さは 0 . 2 mm から 3 0 . 0 mm で外径は 1 . 0 mm から 8 0 . 0 mm のナット E を取り付け、ナット E を締めることで下刃体 A と長い板部材 C を固定する、以上のことを特徴とするペット用顔毛切り。

10

【 0 0 0 6 】

犬猫等のペットの顔の毛を切るペット用顔毛切りで、上下両刃体 A , B を金属等で造り、上下両刃体 A , B の長さは 2 0 . 0 mm から 1 0 0 0 . 0 mm で幅は 3 . 0 mm から 1 0 0 . 0 mm で肉厚は 0 . 2 mm から 3 0 . 0 mm 、上下両刃体 A , B に刃先 K , L を相対向させて形成し、上下両刃体 A , B を刃先 K , L の反対側で接続して取り付け接続点 M とし、下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った円弧の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った V 字の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は直線の形をし、上下両刃体 A , B に金属等で造られた太さ 0 . 5 mm から 3 0 . 0 mm の支持ピン G を通し、支持ピン G と下刃体 A を接続して固定し、支持ピン G が上刃体 B より上側に突き出た部分に横穴を開けて金属等で造られた太さ 0 . 3 mm から 2 0 . 0 mm のピン H を通し、押圧操作レバー F の片隅にピン H を入れる穴を開け、ピン H と押圧操作レバー F を取り付け、押圧操作レバー F を金属等で造り長さは 2 0 . 0 mm から 1 0 0 0 . 0 mm で幅は 3 . 0 mm から 1 0 0 . 0 mm で肉厚は 1 . 0 mm から 6 0 . 0 mm 、押圧操作レバー F を下側に力を加えることで上刃体 B の刃先 L が下がり、下刃体 A の刃先 K と上刃体 B の刃先 L は接触して、下刃体 A の刃先 K と上刃体 B の刃先 L の間にあるペットの顔の毛を切ることができるようにし、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔との距離を一定に調整するため、ペットの顔に接する部材 N を長い板部材 C の先端に取り付け、長い板部材 C は金属又は高分子化合物で造られた幅は 2 . 0 mm から 8 0 . 0 mm で長さは 1 0 . 0 mm から 4 0 0 . 0 mm 、ペットの顔に接する部材 N は金属又は高分子化合物で造られ先端を丸めた円形又は楕円形で、ペットの顔に接する部材 N が上下両刃体 A , B の刃先 K , L より出て長い板部材 C を下刃体 A に取り付け、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔に接する部材 N との距離を一定にするための長い板部材 C が下刃体 A の外側に固定して取り付けられ、ペットの顔の毛を切る時はペットの顔に接する部材 N をペットの顔に接して使用する、以上のことを特徴とするペット用顔毛切り。

20

30

40

【 0 0 0 7 】

犬猫等のペットの顔の毛を切るペット用顔毛切りで、上下両刃体 A , B を金属等で造り、上下両刃体 A , B の長さは 2 0 . 0 mm から 1 0 0 0 . 0 mm で幅は 3 . 0 mm から 1 0 0 . 0 mm で肉厚は 0 . 2 mm から 3 0 . 0 mm 、上下両刃体 A , B に刃先 K , L を相対向させて形成し、上下両刃体 A , B を刃先 K , L の反対側で接続して取り付け接続点 M とし、下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った円弧の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接続点 M から見て上下両刃体 A , B の刃先 K , L は外側に中央が出っ張った V 字の形をし、又は下刃体 A と上刃体 B の接続

50

点Mから見て上下両刃体A, Bの刃先K, Lは直線の形をし、上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔の距離を調整するため、ペットの顔に接する部材Nを部材Cの先端に取り付け、部材Cは金属又は高分子化合物で造られた幅は2.0mmから80.0mmで長さは10.0mmから400.0mm、ペットの顔に接する部材Nは金属又は高分子化合物で造られ先端を丸めた円形又は楕円形又は多角形で、ペットの顔に接する部材Nが上下両刃体A, Bの刃先K, Lより出て部材Cを上下両刃体A, Bに取り付け、上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔に接する部材Nとの距離を一定にするための部材Cが上下両刃体A, Bに固定して取り付けられた、又は上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔に接する部材Nとの距離を変えることができる部材Cが上下両刃体A, Bに取り付けられた、以上のことを特徴とするペット用顔毛切り。

10

【0008】

【実施例】

図1のように、上下両刃体A, Bを金属で造り、上下両刃体A, Bの長さは70.0mmで幅は15.0mmで肉厚は2.5mm、上下両刃体A, Bに刃先K, Lを相対向させて形成し、上下両刃体A, Bを刃先K, Lの反対側で接続して取り付け接続点Mとし、下刃体Aと上刃体Bの接続点Mから見て上下両刃体A, Bの刃先K, Lは外側に中央が出っ張った円弧の形をし、上下両刃体A, Bに金属で造られた太さ4.0mmの支持ピンGを通し、支持ピンGと下刃体Aを接続して固定し、支持ピンGが上刃体Bより上側に突き出た部分に横穴を開けて金属で造られた太さ2.4mmのピンHを通し、押圧操作レバーFの片隅にピンHを入れる穴を開け、ピンHと押圧操作レバーFを取り付け、押圧操作レバーFを金属等で造り長さは70.0mmで幅は15.0mmで肉厚は6.0mm、押圧操作レバーFを下側に力を加えることで上刃体Bの刃先Lが下がり、下刃体Aの刃先Kと上刃体Bの刃先Lは接触して、下刃体Aの刃先Kと上刃体Bの刃先Lの間にあるペットの顔の毛を切ることができ、下刃体Aに雄ネジ加工した金属で造られた太さ3.0mmのボルトDを接続して取り付け、ボルトDは下刃体Aより下側に突き出て、上下両刃体A, Bの刃先K, Lとペットの顔との距離を変えるための直方体の長い板部材Cが下刃体Aの外側に取り付けられ、幅は8.0mmで長さは40.0mmで厚さは2.5mmの金属で造られた直方体の長い板部材Cの中央付近の長手方向に幅は3.2mmで長さは20.0mmの溝Jを貫通して開け、下刃体Aの下側に長手方向に直方体の長い板部材Cを取り付ける溝を幅は8.2mmで深さは1.0mmで彫り、直方体の長い板部材Cの片端に金属で造られたペットの顔に接する部材Nを取り付け、ペットの顔に接する部材Nは先端を丸めた長軸は13.0mmで短軸は6.5mmの楕円形で、直方体の長い板部材Cに貫通して開けた溝JにボルトDを通し、下刃体Aと直方体の長い板部材Cを接続して取り付け、直方体の長い板部材Cに貫通して開けた溝JをボルトDが移動できるように取り付けて、ボルトDが溝Jを移動することでペットの顔に接する部材Nと刃先K, Lとの距離は変えて調整できるようにし、下刃体A及び直方体の長い板部材Cより下側に突き出たボルトDに金属で造られた厚さは4.0mmで外径は12.0mmのナットEを取り付け、ナットEを締めることで下刃体Aと直方体の長い板部材Cを固定するペット用顔毛切り。

20

30

【0009】

上下両刃体A, Bを金属で造り、上下両刃体A, Bの長さは70.0mmで幅は15.0mmで肉厚は2.5mm、上下両刃体A, Bに刃先K, Lを相対向させて形成し、上下両刃体A, Bを刃先K, Lの反対側で接続して取り付け接続点Mとし、下刃体Aと上刃体Bの接続点Mから見て上下両刃体A, Bの刃先K, Lは外側に中央が出っ張った円弧の形をし、上下両刃体A, Bに金属で造られた太さ4.0mmの支持ピンGを通し、支持ピンGと下刃体Aを接続して固定し、支持ピンGが上刃体Bより上側に突き出た部分に横穴を開けて金属で造られた太さ2.4mmのピンHを通し、押圧操作レバーFを金属等で造り長さは70.0mmで幅は15.0mmで肉厚は6.0mm、押圧操作レバーFの片隅にピンHを入れる穴を開け、ピンHと押圧操作レバーFを取り付け、押圧操作レバーFを下側に力を加えることで上刃体Bの刃先Lが下がり、下刃体Aの刃先Kと上刃体Bの刃先Lは接触して、下刃体Aの刃先Kと上刃体Bの刃先Lの間にあるペットの顔の毛を切ることが

40

50

でき、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔との距離を一定に調整するため、ペットの顔に接する部材 N を長い板部材 C の先端に取り付け、長い板部材 C は金属で造られた幅は 8 . 0 mm で長さは 30 . 0 mm 、ペットの顔に接する部材 N は金属で造られ先端を丸めた直径 12 . 0 mm の円形、ペットの顔に接する部材 N が上下両刃体 A , B の刃先 K , L より出て長い板部材 C を下刃体 A に取り付け、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔に接する部材 N との距離を一定にするための長い板部材 C が下刃体 A の外側に固定して取り付けられ、以上のことを特徴とするペット用顔毛切り。

【 0 0 1 0 】

【 発 明 の 効 果 】

ペットの顔の毛切りが安全になる。

10

【 図 面 の 簡 単 な 説 明 】

【 図 1 】 ペットの顔に接する部材 N を部材 C の先端に取り付け、ペットの顔に接する部材 N が上下両刃体 A , B の刃先 K , L より出て部材 C を下刃体 A に取り付け、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔に接する部材 N との距離を変えることができる部材 C が下刃体 A に取り付けられた。

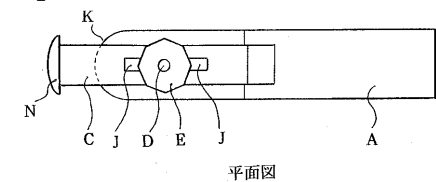
【 図 2 】 ペットの顔に接する部材 N を部材 C の先端に取り付け、ペットの顔に接する部材 N が上下両刃体 A , B の刃先 K , L より出て部材 C を下刃体 A に取り付け、上下両刃体 A , B の刃先 K , L とペットの顔に接する部材 N との距離を一定にするための部材 C が下刃体 A に固定して取り付けられた。

20

【 符 号 の 説 明 】

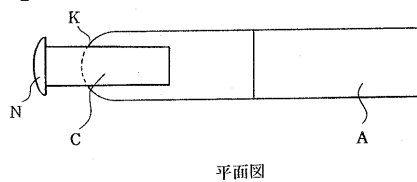
A : 下刃体、 B : 上刃体、 C : 部材、 D : ボルト、 E : ナット、 F : 押圧操作レバー、 G : 支持ピン、 H : ピン、 J : 溝、 K : 下刃体 A の刃先、 L : 上刃体 B の刃先、 M : 下刃体 A と上刃体 B の接続点、 N : 部材 C に取り付けたペットの顔に接する部材。

【 図 1 】

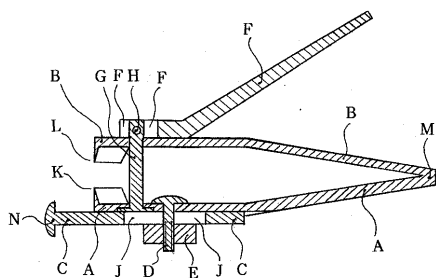


平面図

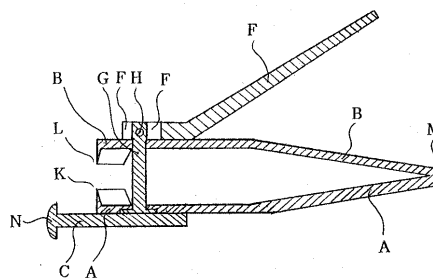
【 図 2 】



平面図



立面図断面図



立面図断面図